

ナシ黒星病の防除対策を行いましょ！

例年、5月中旬頃から黒星病の発生が多くみられ、今年も多発する恐れがあります。圃場をよく観察し、薬剤防除や耕種的防除を徹底することにより、ナシ黒星病の発生を減らしましょう。

1 防除対策

●薬剤防除

- 昨年は5月～6月末に黒星病が多発し、圃場内の菌密度は高まっている。また、5月の降水量は多い予想で、本病の感染が拡大する恐れがある。
- 黒星病は感染後、発病までに約15日間程度の潜伏期間があるため、発病状況をこまめに確認するとともに、発生を見たら追加防除を徹底する。
- 通風・採光を良くし、散布した薬剤が樹全体にかかるようにする。特に、圃場の周辺部など薬液のかかりにくい場所は丁寧に散布する。
- 同一薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- 無袋栽培では薬剤の種類によっては果実に汚れが生じることがあるので注意する。

●耕種的防除

- 葉に病斑を見つけた場合は、直ちに除去し、埋設等適切に処分を行う。

2 主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数
アントラコール顆粒水和剤	500倍	200～700L/10a	収穫45日前	4回以内
ユニックス顆粒水和剤47	2000倍	200～700L/10a	収穫21日前	3回以内
ネクスターフロアブル	1500倍	200～700L/10a	収穫1日前	3回以内



果そう基部病斑



葉部の病斑



☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>) を確認して下さい。